

改善箇所説明図



注： は、点検し、必要な場合は交換する部位を示す

カーボン製プロペラシャフトと金属製フランジの接着作業が不適切なため、結合部の接着力が弱いものがある。そのため、エンジントルクでプロペラシャフトとフランジの接着が剥がれ、エンジンからトランスミッションへ動力が伝わらなくなり、最悪の場合、走行不能になるおそれがある。

改善の内容

全車両、プロペラシャフトの部品番号を点検し、交換が必要な場合は対策品と交換する。

識別：車台番号の付近に黄色ペイントを塗布する